

これまでの検討と今後について

I. これまでの検討と今後について

■ 第4回検討会実施にあたって

平成29年度

学研高山地区第2工区
まちづくり検討有識者
懇談会とりまとめ

【まちづくりの方向性】

- ・ 精華・西木津地区との連携
- ・ 産学官共創によるイノベーションの持続的な創出
- ・ 超スマート社会への貢献
- ・ 農業イノベーションの創出
- ・ 職住が近接する次世代型居住機能の創出
- ・ 都市と自然環境の共生

平成30年度～令和元年度

検討会①

検討会②

検討会③

- ・ 位置づけ、現況等について
- ・ 高山地区全体の骨格道路や造成イメージの検討

今年度

【重点目標】

事業化を見据えた具体的
検討

I. これまでの検討と今後について

■ まちづくりに向けた課題

マスタープランの策定に向けた課題

- ①合意形成のとれたマスタープランの策定
- ②時代とともに成長進化する「新しい計画論」
- ③公民連携による事業化方策・事業主体の検討
- ④事業リスクを軽減した実現可能な計画

順応・段階的整備を基本とした計画の策定

都市的土地利用、自然的土地利用ゾーンの開発方針

超スマート社会への対応策

⑤都市計画の見直し調整

都市計画道路

都市計画道路に係る広域調整

区域区分、地域地区

地区内外道路の事業化方策

環境影響評価の必要性等の検討

⑥土地利用の具体化に向けた検討

学術研究・産業系施設機能導入

自然的土地利用ゾーンへの導入施設

住宅地計画の検討

緑地の確保と維持管理

I. これまでの検討と今後について

■まちづくりに向けた課題

事業化推進に向けた課題

公民連携による事業推進へ向けた方針等

○事業化方針の策定

- ・ 公民連携のまちづくり推進に向け、市は主体的に取り組む。
なお、具体的事業の推進については、地権者・市・県・民間事業者の連携、役割分担を具体化し、取組み方針を決めることが必要

○開発手法検討

- ・ 役割分担を明確にした順応・段階的整備の開発手法を検討

○市有地の活用方策の検討

- ・ 市有地の事業促進に向けた活用方策や将来の市有地の活用方策について検討

○民間事業者の参画

- ・ 民間事業者へのヒアリングを行うとともに、事業参画条件等に関する調整などを行い、早期段階での参画を目指す。

○施設立地誘導策の検討

- ・ 早期の事業着手を図るため、企業等立地の誘導策を検討

I. これまでの検討と今後について

■まちづくりの進め方

